

E-b

健康管理・健康増進の取り組み

こころとからだの健康づくり活動

メンタルヘルスについては教育にとどまらず、社員同士の交流の場を提供するなど（社員同士の交流を企画・推奨するなど）職場のコミュニケーション活性化に注力し、社員一人ひとりが「おもしろおかしく」を体現できるよう働きやすい会社作りに取り組んでいます。また、『こころとからだの健康づくり』を目的に、2012年5月7日付で㈱堀場製作所社長より「こころとからだの健康づくり」宣言が発表され、組織を超えた横断的メンバー（健康管理室・グローバル人事部・総務部・IMS（統合マネジメントシステム）認証管理部署・健康保険組合・福利厚生会社・労働組合）で設立された『こころとからだの健康づくりプロジェクト』を中心に、更なる社員の健康保持増進につなげています。

「こころとからだの健康づくり」宣言（2012年5月7日）

HORIBAグループは社是「おもしろおかしく」の下、生きがい、働きがいを持ち、充実した人生を過ごすために、一人ひとりの従業員の心身の健康を大切にし、明るく活気ある職場づくりを推進する。

㈱堀場製作所
代表取締役会長兼社長

「こころとからだの健康づくり」に関する行動指針（2012年5月7日）

HORIBAグループは“こころとからだの健康づくり”宣言を具現化するために、「3つの予防」と「4つのケア」に取り組む。

◆「3つの予防」を推進する

【一次予防】 心身の健康増進と病気やケガの発生予防を目指す。

【二次予防】 病気やケガを早期に発見し、早期治療や重症化予防のための措置を行う。

【三次予防】 病気やケガが発生した場合、職場や社内外の健康管理スタッフは守秘義務を遵守、業務復帰後の再発予防にとどまらず、本人と職場の不利益が最小限となるよう取り組む。

【PDCA】 社内健康増進部署はグループ安全衛生会議と連携して中期目標を設定し、一次予防、二次予防、三次予防のためのアクションプランと効果測定指標を策定する。効果測定指標の到達度を評価して、新たなアクションプランに反映する。

◆「4つのケア」を強化する

【セルフケア】 ホリバリアン*一人ひとりが自らの健康・ストレス状態に注意を払い、不調時は迅速かつ適切に対処する。

【ラインケア】 上司は、日ごろから部下や関係者の就労状況、健康状態に目を配って不調者の早期発見に努める。

【社内の健康管理スタッフによるケア】

社内の健康管理スタッフは、必要な情報やアドバイスを提供して、ホリバリアン一人ひとりの健康増進を支援する。

【事業場外の専門家によるケア】

社外専門機関と連携し、ホリバリアン一人ひとりが守秘義務のもと気軽に利用できる体制を整える。

【ワークライフバランス】

「4つのケア」を強化するとともにホリバリアン一人ひとり支援し、適宜ご家族と連携して健康づくりに取り組む。

*ホリバリアン：HORIBAグループで働くすべての人

労働安全衛生